



暮らしいき安心アップデート“スマートCITY★かたの”

交野市DX推進計画

アクションプラン

令和4年(2022年)3月

交野市



アクションプラン

基本方針		
取り組み	○-○-○	アクションプラン
	○-○-○	アクションプラン
	○-○-○	アクションプラン
1.利便性の高い市民サービスの実現		
1-1	行政手続きのオンライン化	
	1-1-1	オンライン手続の推進
	1-1-2	マイナポータル・びったりサービスの導入・拡充
1-2	キャッシュレス決済の拡充	
	1-2-1	市税収納のデジタル化・電子決済の推進
	1-2-2	証明書発行のキャッシュレス化及び受付業務でのICT利活用
	1-2-3	その他市民手続きのキャッシュレス化
1-3	マイナンバーカードの普及の推進	
	1-3-1	マイナンバーカードの普及啓発及び交付体制の整備
2.行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化		
2-1	情報システムの標準化と共通化	
	2-1-1	情報システムの標準化と共通化
2-2	業務の省力化、効率化を図るデジタル環境の最適化	
	2-2-1	庁内情報基盤の整備
	2-2-2	コミュニケーションツールの拡充
	2-2-3	電子決裁の導入の検討
	2-2-4	議会デジタル化の推進
2-3	情報セキュリティ対策の強化	
	2-3-1	自治体情報システム強靱化向上モデル対応
	2-3-2	情報セキュリティ基本要綱の運用
	2-3-3	職員のICTリテラシーの向上
3.豊かで安心な暮らしの実現に向けたデジタル技術の活用		
3-1	豊かな教育環境の整備	
	3-1-1	未来の教育ICT環境整備(NE×T)推進事業
3-2	安全・安心な暮らしの実現	
	3-2-1	防災に関する情報収集・発信・共有力の強化
	3-2-2	防犯対応強化
	3-2-3	高齢者ICTリテラシーの向上
3-3	多様な情報発信手段の活用	
	3-3-1	公式SNS(LINE等)等の公開・活用
	3-3-2	市HPの更新



個別計画・アクションプランのシート(1-1-1)

1	基本方針	利便性の高い市民サービスの実現	
2	取り組み	行政手続きのオンライン化	
3	プランの題名(施策名)	オンライン手続の推進	
4	施策の概要	市民のニーズや行政事務の様々な変化にスピーディーかつ柔軟に対応していくため、汎用的な電子申請システムの導入など、市民がいつでもどこからでも手続きができる利便性の高いまちを目指す。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	マイナポータルではカバーできない行政事務の多様な手続き(予約、申込、アンケート等)について、オンライン申請を実現することで、手続きの準備やデータの集約に係る業務時間、窓口での対応時間、申請不備の割合等を削減することが期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	汎用電子申請システム環境基盤(Logo フォーム)の整備、優先度の高いものから順次手続きのオンライン化
		令和4年度	申請手続きの全庁棚卸し 市 HP 上へ電子申請ポータルサイト開設
		令和5年度	公的個人認証やキャッシュレス決済への対応検討 ぴったりサービスとの URL 及び API 連携の対応検討
		令和6年度	令和5年度検討結果に基づく汎用電子申請システムの機能拡充
7	その他参考となる事項		
8	担当課	関係部署	



個別計画・アクションプランのシート(1-1-2)

1	基本方針	利便性の高い市民サービスの実現	
2	取り組み	行政手続きのオンライン化	
3	プランの題名(施策名)	マイナポータル・ぴったりサービスの導入・拡充	
4	施策の概要	<p>子育てや介護、被災者支援等の手続きを対象として、国が運用するマイナポータルを活用し、マイナンバーカードを用いたオンライン手続きやワンストップサービスを拡充することにより、市民の利便性が高いまちを目指す。</p> <p>また、多くの申請が見込まれる現況届等については、基幹系業務システムとの連携等による行政事務の効率化・最適化を検討する。</p>	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ オンライン環境に対するニーズが比較的高い若い世代が必要とする子育て等の分野を中心に、マイナポータル上で手続きが完結できるような環境の実現を図る。・ WEB 上で手続きが完結することにより、市民の利便性向上と、行政事務の効率化が期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	情報収集等
		令和4年度	導入に向けたニーズ調査及び基盤整備
		令和5年度	運用開始、API 連携の対応検討
		令和6年度	対象手続きの拡充検討
7	その他参考となる事項		
8	担当課	関係部署	



個別計画・アクションプランのシート(1-2-1)

1	基本方針	利便性の高い市民サービスの実現	
2	取り組み	キャッシュレス決済の拡充	
3	プランの題名(施策名)	市税収納のデジタル化・電子決済の推進	
4	施策の概要	日常生活においてキャッシュレス決済が普及していることから、市税収納等について、スマートフォン決済やクレジットカード払い等のキャッシュレス決済を推進する。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ 市民が多様な決済手段を選択できることで、利便性の向上と、納付漏れ等のリスク低減が期待できる。・ 人と人の接触による新型コロナウイルス感染へのリスクの低減を図ることができる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	バーコード読み取りによるスマートフォン決済の開始
		令和4年度	共通納税システムにおけるクレジットカード払いのシステム化に関する情報収集、費用見積
		令和5年度	固定資産税・軽自動車税でクレジットカード払いの実施
		令和6年度以降	(国税と同様に令和7年度末までに40%のキャッシュレス決済比率を目指す)市民税等順次実施
7	その他参考となる事項		
8	担当課	税務室	



個別計画・アクションプランのシート(1-2-2)

1	基本方針	利便性の高い市民サービスの実現	
2	取り組み	キャッシュレス決済の拡充	
3	プランの題名(施策名)	証明書発行のキャッシュレス化及び受付業務での ICT 利活用	
4	施策の概要	<p>証明書発行に際して、発行手数料の収受について、キャッシュレス決済の導入を進める。</p> <p>また、窓口での異動届の内容を、住民基本台帳システムに自動反映させることで、異動届の処理に係る処理時間の短縮と人的入力ミスを防ぐ。</p>	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ 市民が多様な決済手段を選択できるようにすることで、利用者の利便性の向上が期待できる。・ OCR やオンライン申請等の技術を活用することで、ヒューマンエラーの削減と庁舎内での滞留時間の短縮化が期待できる。・ 人と人の接触による新型コロナウイルス感染へのリスクの低減を図ることができる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	システム導入に向けた調査
		令和4年度	<ul style="list-style-type: none">・窓口システム 4～6月 RFI 7～11月 仕様検討・RFP 12～1月 構築 2月 本番稼働・キャッシュレス決済 4～6月 導入準備 6～9月 申請・審査 9月 本格導入
7	その他参考となる事項		
8	担当課	市民課	



個別計画・アクションプランのシート(1-2-3)

1	基本方針	利便性の高い市民サービスの実現	
2	取り組み	キャッシュレス決済の拡充	
3	プランの題名(施策名)	その他市民手続きのキャッシュレス化	
4	施策の概要	現在、現金により行っている各種申請に伴う手続きの手数料收受や施設使用料その他の納付について、市民が多様な決済手段により支払いができるよう、キャッシュレス決済の導入を検討する。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">各種申請に伴う手数料の支払いや施設使用料の納付について、市民が多様な決済手段を選択できるようにすることで、利便性の向上が期待できる。人と人の接触による新型コロナウイルス感染へのリスクの低減を図ることができる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	—
		令和4年度	導入に向け調査、導入準備
		令和5年度	運用開始
		令和6年度	継続
		令和7年度	
7	その他参考となる事項		
8	担当課	関係部署	



個別計画・アクションプランのシート(1-3-1)

1	基本方針	利便性の高い市民サービスの実現	
2	取り組み	マイナンバーカードの普及の推進	
3	プランの題名(施策名)	マイナンバーカードの普及啓発及び交付体制の整備	
4	施策の概要	国全体で進めているマイナンバーカード普及のため、マイナンバー制度や申請手続きについて、広報紙やホームページによる啓発、自治会館等及び商業施設での出張申請受付、またマイナポイント付与などの申請サポートを行うことにより、カードの交付件数を増やす。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ マイナンバーカードの交付率の向上により、行政手続のオンライン化と添付書類の削減が期待できる。・ 各種媒体で啓発することにより、市民がマイナンバーカードの利便性について理解を深めることが期待できる。また、出張申請受付を実施することにより、デジタル技術が使いこなせる市民とそうでない市民との「デジタル格差」に対応することができる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	交付促進
		令和4年度	年度末において、全市民への交付を目指す。
7	その他参考となる事項		
8	担当課	市民課	



個別計画・アクションプランのシート(2-1-1)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化	
2	取り組み	情報システムの標準化と共通化	
3	プランの題名(施策名)	情報システムの標準化と共通化	
4	施策の概要	令和7年度末までに国が整備等を進める共通的な基盤・機能を提供する Gov-Cloud(ガバメントクラウド)の活用に向け、基幹系20業務システムについて国の標準仕様に準拠したシステムへの移行を実施するため、検討会を通じて業務の見直しや業務連携の精査等を行う。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">複数のベンダーで構成される各業務システムを集約することで、システムの最適化と運用コストの削減が期待できる。業務システム間のデータ連携を一元管理することで、窓口対応効率の向上が期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	現行システムの機器更新・保守継続
		令和4年度	検討会立ち上げ、標準仕様書と現行業務の精査
		令和5年度	移行計画策定、RFI、予算要求
		令和6年度	RFP、構築、順次移行
		令和7年度	順次移行
7	その他参考となる事項		
8	担当課	情報担当課、関係部署	



個別計画・アクションプランのシート(2-2-1)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化	
2	取り組み	業務の省力化、効率化を図るデジタル環境の最適化	
3	プランの題名(施策名)	庁内情報基盤の整備	
4	施策の概要	<p>庁内における現行の各種内部情報系システム(財務会計、文書管理、人事給与、庶務管理、GIS等)の保守延長対応を図り、利用期間の見極めと内部情報系システムの統合や最適化に向けた検討を進める。また、汎用電子申請システムや無線LANを活用し、庁内業務のオンライン化やペーパーレス化を推進する。</p> <p>庁内情報端末基盤については、将来的なガバメントクラウドへの移行も視野に、更新時期を見極めながら新技術(Windows11やMicrosoft 365、仮想化基盤等)に対する調査・研究を進める。</p> <p>電子化が未実施の電子決裁、電子契約、公共施設管理等についても調査・研究を行い、導入の可否について検討する。</p>	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	内部情報系システムの最適化やオンライン化、情報端末基盤の整備により、業務効率化や運用経費の削減、管理負担の軽減が期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	情報系 LAN 無線化
		令和4年度	庁内手続きの棚卸とオンライン化
		令和5年度	各種内部情報系システムの更新・統合に係る方向性の検討
		令和6年度	庁内情報端末基盤の調査・検討
		令和7年度	庁内情報端末の機器更新
7	その他参考となる事項		
8	担当課	情報担当課	



個別計画・アクションプランのシート(2-2-2)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化	
2	取り組み	業務の省力化、効率化を図るデジタル環境の最適化	
3	プランの題名(施策名)	コミュニケーションツールの拡充	
4	施策の概要	庁内における情報共有を効果的に行う各種コミュニケーションツールの導入により、通常時の業務効率化や生産性の向上を後押しするだけでなく、緊急時(感染症や災害発生等)においても柔軟な業務継続体制の確保を行い、職員の多様で柔軟な働き方の実現を推進するための環境整備を行う。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ 部署内外を問わず、情報共有と意思決定のスピードが向上し、新たな業務に割く時間の創出が期待できる。・ 導入後1～2年目は、1人あたり年間5時間以上の業務削減を目標とし、3年目以降には業務削減と併せて組織全体の業務の進め方の変革から助け合いの風土を高めることを目指す。	
6	スケジュール(予定)	<WEB 会議システム、テレワークシステム>	
		令和3年度	端末及びシステムの導入
		令和4年度	定量効果分析
		<チャットツール(チャット、掲示板、スケジュール等)>	
		令和3年度	無料トライアル利用による効果検証 他自治体実績の情報収集
		令和4年度	大阪府共同化事業によるシステムの導入
		令和5年度	定量効果分析
7	その他参考となる事項		
8	担当課	情報担当課	

個別計画・アクションプランのシート(2-2-3)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化	
2	取り組み	業務の省力化、効率化を図るデジタル環境の最適化	
3	プランの題名(施策名)	電子決裁の導入の検討	
4	施策の概要	現在、紙により行われている決裁文書について、システムを活用した電子決裁への移行について検討を行う。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決裁の状況が可視化されることで、業務の停滞を防ぎ、迅速な意思決定や問題解決につながる。また、文書をシステムで一元管理することから、検索性の向上が期待できる。 ・ 行政文書をデータ化することにより、文書の保存場所について、物理的に減少させることが期待できる。 	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	電子決裁導入の検討 (導入に伴う課題の整理)
		令和4年度	
		令和5年度	
		令和6年度	業者の選定・契約、システム構築等
		令和7年度	電子決裁の運用開始
7	その他参考となる事項	庁舎移転等の状況によっては、スケジュールが変更される場合がある。	
8	担当課	総務課	



個別計画・アクションプランのシート(2-2-4)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化	
2	取り組み	業務の省力化、効率化を図るデジタル環境の最適化	
3	プランの題名(施策名)	議会デジタル化の推進	
4	施策の概要	業務効率の向上や情報連携の推進を目指す手法としてデジタル技術の活用が有用であることから、市議会においてもデジタル化の推進により、オンラインによる会議実施の実現や、議会関係資料等のデジタル化による議会内及び理事者間での情報共有事務の効率化を図る。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ デジタル手法の活用により、議事運営の効率化が図られ、より一層議案等の内容調査に時間を充てることができ、ひいてはそれが、市民サービスの向上につながることを期待できる。・ 議会関係資料等のデジタル化による、議会内及び理事者間での情報共有事務の効率化が図れる。また、デジタル化による資料検索時間の短縮等の効率化が期待できる。・ オンライン会議が可能となることによる議会活動の拡大及び市議会議員の働き方の多様性の創出が期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	議会改革委員会を軸とした議会デジタル化の検討(システム導入、ネット環境等)
		令和4年度	議会資料共有システムの導入(予定)
		令和5年度	システム導入による効果の把握
		令和6年度	継続導入に係る検証(改善点等)
		令和7年度	継続導入
7	その他参考となる事項	デジタル化に伴うわかりやすい資料の検討、執行部への検討・作成依頼、議会内における活用推進の検討	
8	担当課	議会事務局	



個別計画・アクションプランのシート(2-3-1)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化	
2	取り組み	情報セキュリティ対策の強化	
3	プランの題名(施策名)	自治体情報システム強靱化向上モデル対応	
4	施策の概要	「自治体セキュリティ対策の抜本的強化」による三層対策及び自治体情報セキュリティクラウド基盤について、ネットワークセキュリティ基盤の見直しを実施し、業務効率化を図りつつ、コストや拡張性を最適化し、情報セキュリティ対策の強化・継続を徹底する。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ 主要なネットワークシステムの保守契約及び関連システムの更改次期の最適化を行い、全体を一体的に更新することで、効率的でよりセキュアなネットワークインフラの構築が期待できる。・ 三層対策のために導入している仮想ブラウザやファイル無害化ツール等の再構築及びフロー見直しにより、内部事務作業の効率化が期待できる。・ 自治体情報セキュリティクラウドの CDN(Content Delivery Network)導入により、災害時等においても市 HP 業務継続のための集中アクセスによる負荷軽減及び不正アクセスの防止を図り、HP システムの安定的な運用が期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	次期ネットワークセキュリティ基盤の調査、予算化、選定
		令和4年度	大阪版セキュリティクラウドにおける CDN 導入、次期ネットワークセキュリティ基盤の再構築
		令和5年度	定量効果分析
7	その他参考となる事項		
8	担当課	情報担当課	



個別計画・アクションプランのシート(2-3-2)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化
2	取り組み	情報セキュリティ対策の強化
3	プランの題名(施策名)	情報セキュリティ基本要綱の運用
4	施策の概要	平成30年11月に全面改定した「交野市情報セキュリティ基本要綱」に基づいたセキュリティに係る運用を継続するとともに、個別の情報システムのセキュリティ対策についての充実や監査によるシステムの適正化を図る。また、最新のセキュリティに係る事案を踏まえ、悪意のあるソフトウェア等への備えや情報漏洩の防止、BYODの取り扱い基準等、必要とする技術的な対策の強化を図り、市の情報資産を守る。
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	定期的な要綱改定や監査を続けることで、各種システムの適正な運用管理の継続、市職員の情報セキュリティに係る意識の向上、個人情報や機密情報漏洩のリスク低減が期待できる。
6	スケジュール(予定)	<ul style="list-style-type: none">・ セキュリティ要綱については、国の最新のセキュリティポリシーと市の状況を踏まえて1年に1回の見直しを実施し、必要に応じて改定を行う。・ セキュリティ監査については、年に1回、書面または対面にて実施し、交野市情報セキュリティ委員会へ結果を報告する。
7	その他参考となる事項	
8	担当課	情報担当課

個別計画・アクションプランのシート(2-3-3)

1	基本方針	行政事務の効率化を支えるデジタル環境の最適化	
2	取り組み	情報セキュリティ対策の強化	
3	プランの題名(施策名)	職員のICTリテラシーの向上	
4	施策の概要	デジタル技術を活用して効率的な業務を提案できる職員を育成するため、最新のデジタル技術や情報セキュリティ等に係る研修を理解度や階層・年代に応じて定期的に実施し、職員のICTリテラシーの向上と人材の育成を図る。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	職員のICTリテラシーの向上により、各現場において、職員が自らDXの推進を担っていく職場環境の構築や雰囲気の醸成が期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	DX 研修 汎用電子申請システム操作研修
		令和4年度	情報セキュリティ/DX 研修 汎用電子申請システム操作研修 コミュニケーションツール操作研修
		令和5年度	令和4年度と同じ
		令和6年度	
		令和7年度	令和4年度と同じ、定量効果分析
7	その他参考となる事項		
8	担当課	情報担当課	



個別計画・アクションプランのシート(3-1-1)

1	基本方針	豊かで安心な暮らしの実現に向けたデジタル技術の活用	
2	取り組み	豊かな教育環境の整備	
3	プランの題名(施策名)	未来の教育 ICT 環境整備(NE×T)推進事業	
4	施策の概要	市立小・中学校における教育の情報化推進に関する基盤となる ICT 環境整備に関する検討委員会を立ち上げ、今後の ICT 環境整備計画の作成と推進を図るとともに、学習用端末の機器選定、交野みらい学園へ整備する ICT 機器選定、学習者ソフト選定等について検討を進める。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ 児童・生徒の情報活用能力の向上や、効果的・効率的な学習効果の向上が期待できる。・ 学校教育環境におけるセキュリティの強化及び教職員による校務処理の効率化を図ることが期待できる。・ 市民・保護者に対する情報発信・情報共有を活性化することが期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	校務支援サーバ整備 システム一部運用開始 外部・内部・学事サーバ更新
		令和4年度	検討委員会の発足
		令和5年度	ICT 整備全体計画検討及び一部整備・更新
		令和6年度	
		令和7年度	学習用端末機器更新 校務支援システム等サーバ更新
7	その他参考となる事項		
8	担当課	まなび未来課	



個別計画・アクションプランのシート(3-2-1)

1	基本方針	豊かで安心な暮らしの実現に向けたデジタル技術の活用	
2	取り組み	安全・安心な暮らしの実現	
3	プランの題名(施策名)	防災に関する情報収集・発信・共有力の強化	
4	施策の概要	市民に対し、緊急時に必要な情報を伝えるため、情報の取得並びに発信について様々な手段の検討を行う。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ 緊急時に必要な情報を効率的に収集することで、情報発信までの時間が短縮される。・ SNSなどの様々な手段で発信することにより、緊急時の情報拡散力が向上し、より多くの市民に必要な情報の提供が可能となる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	災害時のドローン協定締結、IP 無線機の導入、災害用タブレットの導入検討 SNS(LINE)による市民周知の検討、導入 O-dis(大阪府防災情報システム)更新に向けての検討
		令和4年度	・O-dis(大阪府防災情報システム)の運用 ・職員の情報共有としてチャットツールの活用
		令和5年度	更なる情報収集並びに発信について 検討、導入
		令和6年度	
		令和7年度	
7	その他参考となる事項		
8	担当課	危機管理室	



個別計画・アクションプランのシート(3-2-2)

1	基本方針	豊かで安心な暮らしの実現に向けたデジタル技術の活用	
2	取り組み	安全・安心な暮らしの実現	
3	プランの題名(施策名)	防犯対応強化	
4	施策の概要	防犯カメラの設置により、犯罪発生時の迅速な対応を行う。また、防犯灯等の適正な管理を行うことにより、事件・事故の防止に努める。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">防犯カメラの設置は犯罪抑制に繋がり、市民の安心安全となり、防犯対策の啓発ともなる。万が一、被害が発生した際には、迅速に被害状況を確認することができ、今後の対策に繋がること期待される。防犯灯等を適正管理することにより、市民の安心安全となり、事件・事故の防止に繋がる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	防犯カメラ設置場所のデータ管理について検討
		令和4年度	・防犯カメラ設置場所をGISにて管理 ・防犯灯、ターポリンの設置場所のデータ管理について検討
		令和5年度	防犯灯、ターポリンの設置場所の把握、データ管理
		令和6年度	継続管理
		令和7年度	
7	その他参考となる事項		
8	担当課	危機管理室	



個別計画・アクションプランのシート(3-2-3)

1	基本方針	豊かで安心な暮らしの実現に向けたデジタル技術の活用	
2	取り組み	安全・安心な暮らしの実現	
3	プランの題名(施策名)	高齢者のICTリテラシーの向上	
4	施策の概要	高齢者が日常生活においてスマートフォンを活用し、これからの新しい生活スタイルに対応できるよう、デジタル機器を扱うことが苦手な高齢者を対象にスマートフォン教室を実施する。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者がスマートフォンを活用できることで、災害情報、健康に関する情報、その他多くの情報を入手することができ、高齢者が安心して暮らすための環境整備に繋がる。・ スマートフォンでの各種行政手続が可能となることや、社会参加ツールとしての利用など高齢者の生活の質の向上が図れ、高齢者が取り残されない社会の実現に繋がる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	地域主催にてのスマホ教室の実施(費用補助)
		令和4年度	スマートフォン教室の実施(新規)
		令和5年度	スマートフォン教室の実施(継続)
		令和6年度	
		令和7年度	
7	その他参考となる事項		
8	担当課	高齢介護課	



個別計画・アクションプランのシート(3-3-1)

1	基本方針	豊かで安心な暮らしの実現に向けたデジタル技術の活用	
2	取り組み	新たな情報発信手段の構築	
3	プランの題名(施策名)	公式 SNS(LINE 等)公開・活用	
4	施策の概要	市からの情報発信として、広報紙、ホームページ等があるが、加えて、公式 SNS(LINE等)による情報発信を行う。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	広報紙やホームページに加え、SNS(LINE等)の活用により、市民がより多くの情報を得られ、市民の情報ニーズを多面的に補完できるとともに、市民が早い段階で情報を入手することができる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	導入
		令和4年度	継続運用 目標:新規友達登録 1,000 人/年
		令和5年度	
		令和6年度	
		令和7年度	
7	その他参考となる事項		
8	担当課	秘書広報課(令和4年度から情報担当課)	

個別計画・アクションプランのシート(3-3-2)

1	基本方針	豊かで安心な暮らしの実現に向けたデジタル技術の活用	
2	取り組み	新たな情報発信手段の構築	
3	プランの題名(施策名)	市ホームページの更新	
4	施策の概要	市ホームページについて、多くの媒体からのアクセスしやすさや、総務省ウェブアクセシビリティ指針等に準拠した更新を行う。	
5	期待される効果 (市民サービスの向上する点、事務の効率化、改善が図れる点など)	パソコンのみでなく、スマートフォン等からのアクセス性向上や、高齢者・障がい者を含む誰もが利用しやすいページ作りをすることにより、市民の情報収集の利便性向上が期待できる。	
6	スケジュール(予定)	令和3年度	—
		令和4年度	更新計画・指針等作成 目標:計画・指針の作成
		令和5年度	システム導入及び既存ページ修正等 目標:システム仕様作成・既存ページの修正手順等の作成
		令和6年度	システム導入及び既存ページ修正等 目標:入札等を行いシステムの導入、トップページ関連の作成と、既存ページの50%以上を修正
		令和7年度	ホームページ更新 目標:既存ページの残を修正、市民へ公開
7	その他参考となる事項		
8	担当課	秘書広報課(令和4年度から情報担当課)	